

展望

マニトバ日系市民協会
180 McPhillips Street
Winnipeg MB R3E 2J9
マニトバ日系
文化センター

65巻 10号
2017年 12月

日文編集員

フロント弥生

JCCAM会長報告 アート三木

フォークロマはコミュニティからの多大な参加と共に経済的にも大きな成功を収めました。日本館への成功へと導いたコーディネータのキヤロライン山下と各部門の委員長、そして多くのボランティアに心から感謝申し上げます。

企画委員会では2018年も続けて参加することを推薦しています。ついてはある部門の委員長を必要としています。企画、実行に関心のある方はご連絡下さい。

・多数のJCCAM代表がオタワの歴史博物館で催されたNAJCC年次総会に出席した。この会議はオタワ日系日系コミュニティによって組織され、過去、現在、未来に焦点を置きパネルディスカッション、ワークショップが行われた。ギャリーわたなべが団体組織としてどの様にして未来に向けて動くべきか、作戦計画ワークショップを設けた。アレックス三木、キャシディー・ネクインダ、ハイリー山本が青年会議に参加し、2018年ウィニペグで催される会議計画に与する予定。

・個人的に私はカナダ人権博物館と共にバンクーバーにおいて「日系人陳謝」というプレゼンテーション、十月にはトロントでのカナダ人種関係基金の新役員のオリエンテーション、そして十二月十日バンクーバーで東アジ

ア系カナダ人の中の橋渡し、人種差別は影響する、という題で話す予定。

・九月の日本アート、古美術品セールでは三千ドル近くの収益があった。実行委員のルーシー山下、グラント・ボーク、ビビアン・ローリー、レス小島に感謝。

・日本庭園と周りの塀は完成。センターを訪れる人たちに穏やかで安らかな環境を作り上げて下さったヘンリー小島、サム松尾、レイ・ノーマン、デュー、ディーン&タッド小島、トム山下、レス小島、ポール・バインズブリッジに感謝。

・NAJCCでは組織の変更を考えており、それに関する調査を行う予定。2018年までに終了する予定。

・JCCAMの未来の作戦を立てるべく、JCCAM役員の研修会を催す。焦点となるのは役員やボランティアの勧誘、プログラムの続行と新プログラムの立上げなど

・ギャラディナーは最初の計画からの変更があったにも関わらず、カナダインで催され225名の出席があり、圧倒的な成功を収めた。レス小島と実行委員会の皆さん、それと大野さんがカナダインのシェフに助言し、日本的な味を加えてくれたことも感謝。

・最近、NDPは南京殺戮記念日を提唱する案をマニトバ州議会に出すべく議会法案を紹介した。これはオンタリオ州議会でも同様の議案が紹介され、NAJCC、カナダ人種関係基金、日本国領事館は南京殺戮は日本の評価を下げ、バンクーバー、トロントに住む若者に否定的な影響を与えると反対した。マニトバにも紹介された時、私はこの影響を深く憂慮する日本総領事と共にコックス相と会い、反対の意を表示した。これはハウスリーダーに届けられた。更にけいこと私はジョンジェラードにも会って危惧を伝えた。この案を委員会に送るかどうかの投票がなされ、敗れ、無効となった。

JCCAM役員、スタッフに代わり、会員、ご家族の皆様は年末年始のご挨拶と共に来年の健康と幸せ、そして成功を祈ります。

ホライゾンクラブ

当クラブは九月六日より再開し、毎水曜日、ランチ、タイチ、カードゲームなど楽しんでいます。十月にはサウスビーチカジノへのバスツアーでランチ、ギャンブルを楽しみました。十九日にはタム山下が転倒を防ぐためのプレゼンテーションを行い、転倒を防ぐ秘訣、バランスを保つ運動、適切な靴などを紹介しました。今後高齢者に関するプレゼンテーションを更に紹介する予定です。

二〇一七年の最後の集まりは十一月二十九日でした。英文アウトLOOKの写真をご覧ください。来年度の再開日は二月七日ですが、一月十三日にポットラックランチの新年会を催します。

五十五歳以上でしたらどなたでも参加できます。年会費は五ドル、ランチは四ドル、皆集まって楽しい時を過ごしています。良いお年をお迎えください。

故 ハリー浜出、よしこ鈴木、

りつこ伊藤、リチャード野瀬、サム中元、きよこ川田、
諸氏のご逝去に対し
心から哀悼の意を表します。

マニトバ日本文化協会

二〇一七年度フォークロマ日本館

入場者数は前年と変わらなかったものの、フォークロマ会計、ジャクリン・デミアニックの報告では2万ドル以上の収益がありました。これは多くのボランティアの尽力のおかげです。詳細は英文アウトLOOKをご覧ください。

来年度どんぶりのランチ

一月 十二、二十六日
二月 九日、二十三日、
三月 九日、二十三日
四月 六日、二十日

どんぶりランチはウイにペグではお値段も手ごろで、ベストランチと人気があります。長年経験済みのボランティアによって作られています。チョイスも多く、替わりメニューも出ています。海老天どん、野菜天どん、すし詰弁当、その他に自家製さつま揚げ、酢の物、みそ汁、緑茶、野菜てんぷらなど盛りだくさんです。JCAM会員になれば連絡がいきます。

センターの外の電気サインもお見逃しなく。前もってご注文も可能です。
電話 204・774・5909 又は
Eメール njccc@shaw.ca
までご連絡ください。

マニトバ日系人の移動

ドキュメンタリーフィルム

FACING INJUSTICE

DVDが二〇ドルで

センターでお求めになれます

センター改善二〇一八年も続行

昨年のセンターの改修に関しては多くのポジティブなコメントを頂きました。新しい玄関、障害者用アクセス、日本庭園、塀、ライティング、パーキング、その他外装の整理などJCAM会員や訪問者にとって更に安全で入りやすくなったようです。十一月九日にはこの玄関が目的になったたアクセス可能なデザインと、ウイニペグ市より二〇一七年度のアクセスアワードをうけました。

センターの内装も変わりつつあり、改修が続行しています。また限りある倉庫、トレイラーから使っていない物や家具を処理する努力もなされています。十二月十八日からの週には新しい床の入替工事が始まり、古いテーブル、椅子に代わり軽く耐久性のものが運ばれてきます。

十二月十八日からの工事では、有害な埃や刺激臭なども出ると思われますので、事務所に連絡してからセンターに来て下さるようお願いします。

全体的なメインホールの雰囲気は日本庭園へのオープンな眺めと床の改善、新しい家具で印象的に変わることとなります。またトイレも水の節約を考え、エコ的で今日の建築コード水準に合った物に替わります。バーに近い小さい女性のトイレは長年必要としていた倉庫と改装されます。その側のトイレはユニセックスのトイレとなります。

役員会ではセンターの短期、長期の改修に関して調査しています。予備プランは(第一、二、三段階)コミュニティー会員の最初の討論ポイントとなるべく、去年ホライゾンクラブに紹介されました。玄関、床、トイレの改善以外はまだ何も討論されていなく、前進する前にコミュニティーからのインプットは必須です。ジョイ・レトカマン率いるビジョン20・20委員会は新年早々にもとの様に次のステップに進むかを皆さんのインプットを基に決めていきたいと、ご意見提案をお願いする予定です。よろしく願います。

映画と弁当のご案内

弁当、スナックを販売します。
ドアは午後五時オープン、映画は六時から開始。
入場料は寄付をお願いしています。

*ずべ公番長

日 二〇一八年一月二十日、土曜日

少年院で出たり力がまっとうな生活を送ろうと努力するがなかなかうまくいかない。そんな中、少年院の同窓生と出会い、ギャング、誘拐犯たちとの争いに巻き込まれていく。
大信田礼子主演。

*あづき

日 二〇一八年二月十七日、土曜日

小さいドラ焼き店を持つ中年男性オーナーと七〇代のめっぽううまいあづきを作るのが上手な女性、そして彼らに関わる高校生とのお話。

二〇一七年NAJCC年次総会報告

二〇一七年九月二十二日、NAJCC年次総会はオタワで催された。JCAMからの代表はアート&けいこ三木、アレックス三木、ヘイリー山本、バレイリー星崎ノーディン、カリン&キャシディー・ネクインダ、ケン寺村。

総会での提案はNAJCC役員の再構成と総会を二年に一度にすることで、NAJCC会員や団体はこれらに関する意見を求められる。センターのジェイクを通して連絡があるはず。

二〇一六年カルガリーでの総会でJCAMは二〇一八年の総会を九月二十一日から二十三日までウイニペグで開催することを提案し、アート&けいこ三木、アレックス三木、ヘイリー山本、バレイリー星崎ノーディン、カリン&キャシディー・ネクインダ、ケイ江畑、ケン寺村が実行委員会を結成した。

一つの提案として恒例のギャラディナーを土曜日にホストすること。その他にはセンターでのオリエンテーション、年次総会、人権問題に関するワークショップ、NAJCCに関する役員構成などがあげられる。

これには多くのボランティアが必要です。この企画実行委員会に関心のある方はセンター、又は私までご連絡ください depositveco@shaw.ca

二〇一八年年次総会議長 ケン寺村

NAJCC日系ヤングリーダー会議

アレックス三木

日系人青年会議はNAJCC年次総会と同時にオタワで催されました。カナダ各地から三〇人以上のヤングリーダーが参加し、ウイニペグからは私、ヘイリー山本、キャシディーネクインダが参加しました。私はNAJCC会議で現代のヤングリーダーが直面する次の三つのチャレンジをシェアしました。

1. 収容生活や補償設定後に育ったため、前の世代とは違う個別のアイデンティティに直面する。多くの参加者が今日のメディアによって提示される日系人としてのアイデンティティとは異なると感じている。
2. 全国のヤングリーダーがつながり支えあい、そのフレンドシップを育てるネットワークと意見を交換し合える場所が必要だと思う。
3. ヤングリーダーとNAJCCその他のグループとの連携。NAJCCのヤングリーダーに対する期待は何か。コミュニティにもっと関与し新しいアイディアを提供したいと思ってもその声は消されたり薄められたりする。古い世代は若い世代が組織をのっとるかのように思っていると言っ心配も出ているが、若者は一般に

お互いに助け合い、未来を築いていきたいと思っている。

日系ヤングリーダー会議の詳細は

<http://jcyoungleaders.naic.ca/>

を「参照」ください。

日系ヤングリーダー会議要約

報告 ヘイリー山本

日系人のアイデンティティとは何なのか、まだその回答を探っている。学校や友人たちの間では日本人に近い、しかし日本から来た人達からはカナダ人に近いと思われる。日系コミュニティは初めての日本人が移民としてカナダに到着して以来、そのアイデンティティを模索しているのではないだろうか。四八時間という短期間で私がヤングリーダー会議から得たものは多かった。私はNAJCCの存在すら知らなく、その役割、他の日系コミュニティでの問題、日系人との交流など。

補償設定以降三〇年が過ぎ、NAJCCの存在の意味が問われている。まずはアイデンティティを確認し、目的を明らかにしないことは未来を描くのも難しいと思う。

各地の日系コミュニティはそれぞれ異なるダイナミックを持つ。ウイニペグは時代に沿って変わり、他の地と比べるとカナダ、日本からの若者との交流に積極的でサポートもあるようだ。問題は若い世代をどのようにコミュニティに組み入れてもっと関与してもらうべきか。他の日系コミュニティの強弱点を聞いたのは貴重だった。

最後にカナダ各地のヤングリーダーと交流できたことはとても楽しかった。ヤングリーダーの中でさえも世代の違いがあり、私は最年少で十歳、十五歳上の人の意見を聞くのは興味深かった。私の目下の目標は学校、キャリアだ。三〇代の人達はすでにキャリアも決まり家族があり時間もあってアイデンティティや文化と取り組みコミュニティに貢献している。

マニトバ短歌会

八月作品

奈津

- ・ 歩きつつまホを見れば罰金と
政府のり出す事故対策事業
ハローウィン終わりのし夜に降り出だす
雪に安けし子らの眠りに

波留

- ・ 散歩道行き合ふ人は知らねども
グッドモーニングと互ひに笑まふ
夕食に友の七人招きたり
会話楽しき英語日本語韓国語

亜紀

- ・ 昼下がりに少年野球の応援に
帽子日傘を持ちて出かける
アルバータ州代表の孫を追ふ
背番号4をめじるしとして

羽瑠

- ・ 背を丸め坊主頭並びいる
まなこの先はナナホシテントウムシ
首筋に痛み走ればテントウ虫
人を噛むこと初めて知るなり

葉流

- ・ 半年を冬のさばるこの地にて
五十年住めどいまだなじめず
とは言えど空高くして凜とした
真冬の朝はきらひではない

サーロー節子さんノーベル平和賞

広島に住んでいたサーロー節子さんが十二歳の時、米国が原爆を投下しました。節子さんは核兵器廃絶の国際キャンペーンを代表し、十二月、ノールウエー、オスロでノーベル賞を受けます。節子さんは八十五歳、カナダ人と結婚し、一九五〇年以来トロントに在住。生涯にわたり核兵器反対のキャンペーンを行ってきました。彼女はノーベル平和賞はこの核兵器廃絶運動に強力な道具となると言います。

また二〇一五年のNAJC年次総会でスピーチを行いました。

JCAMはこの優れた評価にお祝いを申し上げます。

JCAM日系ヘリテージデー報告

二〇一七年十月一日、文化センターで日系人の収容七五周年を記してパブリック・フォーラムが催されました。最初にアロン・フレスコによる「FACING JUSTICE」と言うフィルムが紹介されました。これは日系人、特にマニトバに強制移動を余儀なくされた日系人の体験を基にしたフィルムです。一九四二年一〇七五人が砂糖ダイコン農家に移動し、制約が解かれた時、その家族はウイニペグで強く結束したコミュニティを築いたのです。

安達祐陽土が英日のポスターを作成し、フォーラムの司会、通訳をしました。企画委員会ではカナダにおける日本人の歴史を知ってもらいたいと、戦後、新移住者を招待しました。新顔が多く見えて嬉しく、アクティビティーにも参加してもらうべく歓迎しました。

市議会議員のブライアン・メイヤーがマニトバの日系カナダ人収容を記念するアートプロジェクトを紹介しました。これは歴史的なマニトバ砂糖会社の建物を壊して、バスターション、プラザ駅が建てられ、そこに絵が描かれるというものです。二〇一八年に工事が始まる予定です。

その後パネルプレゼンテーションが行われ、一九六〇年代に移住したブランド弥生がこれまでの体験を話しました。カリン・ネクインダと娘さんのキャシディーが家族の移動と日系四世、五世としての体感を語りました。

その後四つの丸テーブルで背景も世代も異なる人たちがカナダに住む体験を話し、外国に住む日系人としてのアイデンティティやマニトバ州における日系人の未来を語り合いました。

歴史保存委員会、安達祐陽土、テルミ桑田ブランド弥生、キャシディー&カリン・ネクインダ、アート三木、それに全ての参加者の皆さんに感謝申し上げます。

あるテーブルは退職した夫婦、二〇代、三〇代が四名。一人の女性はブラジル人とのハーフ、フィリピン人とのハーフ。それにメティスとギリシヤ人の混血、そして夫婦はアイリッシュ、イギリス人が祖先。純血ではないことで、日系人の体験が分かったと言ひ、世界第二次世界大戦時の日系人の体験は知らなかったそうです。日系人がこのような体験をしているからこそ、色々なコミュニティの橋渡しとなるべき、そしてカナダ人として違いよりも似ているところを受け入れるべきと感じたとのことでした。

他のテーブルは米国で働いた女性とアメリカ人の夫婦、家族が収容を体験した四人の日系人とカナダ人と最近結婚し移住してきた女性でした。日系人としてのアイデンティティは重要。収容により言語を失い、ヘリテージ、財産も失った。異人種結婚は八〇から九〇%。日系人の戦争時の体験が二度とおこらないように、子供たちや知らない人に歴史を伝えていくべきだと話しました。

他の二つのテーブルの顔ぶれは日本語を話

すお母さんと二人の子供、日本人と結婚しているカナダ人、二人の三世、お母さんと英語を流ちょうに話す息子、それに四世、一九六〇代にカナダにきた女性二人、十年ほど前にカナダ人と結婚した女性、などでした。

歴史保存委員長 けいこ三木報告

日系文化センター

二〇一八年度行事スケジュール

- | | |
|------|------------------------|
| 一月 | |
| 七日 | お正月オープンハウス 正午より |
| 十二日 | どんぶりランチ 正午より |
| 十三日 | ホライゾン新年会 正午より |
| 十四日 | 役員会研修会 午後六時から九時半 |
| 二〇日 | 役員会研修会 午前十時から四時 |
| 二十一日 | 弁当&映画 午後五時オープン ラーメンランチ |
| 二十六日 | 午前十一時半、午後一時 |
| 二十七日 | どんぶりランチ 正午より |
| 二月 | すしクラス 午後十二時半より |
| 二日 | カルガリー領事サービス(予約) |
| 三日 | アイコンナイト 映画、ラーメン他 |
| 九日 | どんぶりランチ 正午より |
| 十四日 | バレンタインデー |
| 十七日 | 弁当&映画 午後五時オープン |
| 二十三日 | センター事務所閉鎖 |
| 二十四日 | どんぶりランチ 正午より |
| 三月 | すしクラス 午後十二時半より |
| 三日 | うどんランチ |
| 九日 | どんぶりランチ 正午より |
| 十一日 | ラーメンランチ |
| | 午前十一時半、午後一時 |

編集部より
写真、フォークロラマ会計報告、寄贈者リストなどは英文アウトLOOKをご覧ください。
健康で良いお年をお迎えください。